

MSI Marine News

トピックス

海上保険の総合情報サイト **MARINE@vi** もぜひ、ご覧ください。 (http://www.ms-ins.com/marine_navi/)

モーダルシフトの概要と推進取組について

国土交通省では、温室効果ガスの排出削減による地球温暖化の防止と低炭素型の物流体系の構築を図るため、荷主企業及び物流事業者等、物流に係る関係者によって構成される協議会が実施するモーダルシフト等の取組みを支援する「モーダルシフト等推進事業」（補助事業）を実施しています。本稿では、モーダルシフトの概要と推進取組についてご紹介いたします。

1. モーダルシフトとは

幹線貨物輸送をトラックから「地球に優しく、大量輸送が可能な鉄道・海運などへ転換」することを言います。労働力不足・道路渋滞・大気汚染などの深刻化により限界に近づいたトラック中心の貨物輸送を見直し、機動力のあるトラックと安く大量に輸送できる鉄道や海運を組み合わせることによって、輸送の効率化やコストダウン、時間短縮をはかろうというもので、国交省等が総合物流対策、CO₂削減策として推進しています。

トラック輸送効率化

荷主別ラックの活用とトラック大型化により多数荷主の幹線輸送を共同化



国際複合一貫輸送

フラットラックコンテナを活用しJRの12ft汎用コンテナによる国際一貫輸送を実施



複数荷主によるモーダルシフト

複数荷主の参加により大規模にモーダルシフトを実施



3PL事業による物流最適化

物流拠点整備により保管・輸配送を総合的に効率化し、物流システムを最適化



2. モーダルシフトの効果

内航船・フェリー・鉄道による輸送は、1トンの荷物を1km運ぶ際に排出するCO₂の量がトラック輸送に対して約1/4（海上輸送）～1/8（鉄道輸送）と大変少なく、環境の保全に有力な手段です。また、船舶による輸送は振動も少なく、輸送時の振動による荷崩れ、荷傷みは、ほとんど生じません。その他、道路混雑の解消にも効果的であり、同時に運転手の長距離運転からの解放により交通事故防止にも寄与します。

3. モーダルシフトの推進取組

国交省では、海上輸送のモーダルシフトの推進に向けて、船舶運行費用の低廉化、利用しやすい港湾の整備、海上輸送の活発化のための規制の見直しなどの課題に対応するとともに、次世代の船舶、港湾についても調査・研究を進めています。

また、鉄道輸送のモーダルシフト推進に向けては、インフラ整備に対する国庫補助、老朽車両・施設の取替等を目的とした設備投資に対する無利子貸付などの財政面での支援措置や、関係者の連携のための会議の設置、物流の「見える化」による消費者への判断基準の提供などといったソフト面からの取組みも併せて行っています。

【参考】

国交省HP：<http://www.mlit.go.jp/>

株式会社内航新聞社：<http://www.naikou.co.jp/index.html>